

平成 29 年度基本施策の達成状況評価

1 基本施策 1：市民活動の裾野の拡大

1-1. 市民活動のきっかけづくり

1-2. 多様な活動につながる情報の提供

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市、武蔵野プレイス、市民社協において、様々な情報提供に資する事業が展開されており、参考指標についても安定して推移している。今後は、市、武蔵野プレイス、市民社協、市民活動団体がそれぞれ発信している情報を集約した武蔵野市の市民活動を網羅した情報発信の手法を検討したい。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

2 基本施策 2：市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実

2-1. 情報提供の充実

2-2. 相談体制の拡充

2-3. 財政的な支援

2-4. 市民活動に関する学びの機会の提供【重点施策】

2-5. 交流の促進

2-6. コーディネート機能の強化【重点施策】

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

一定の事業は行われているが、市民活動の多様性に合わせて、様々な分野において、更なる事業の実施が必要である。また、市の補助金以外の民間の助成金等の資金調達手段の情報提供の充実も必要である。

補助金制度は、法人・団体の成長・発展のための事業であり、団体にとって補助金利用が常態化しないように、補助金のあり方について、見直しが必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

3 基本施策3：市民活動の場の活用促進

3-1. 武蔵野プレイスの有効活用

3-2. 多様な活動の場の情報提供

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

武蔵野プレイスを活用した事業は多く行われており、市民活動団体の登録数なども安定して推移している。今後さらに、人・物・情報の集約を図り、本市の市民活動の拠点として、市民活動団体に対しさらなる有効活用を促す必要がある。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見

4 基本施策4：市民活動の場の活用促進

4-1. 連携と協働に向けたネットワークの構築

4-2. 連携と協働に向けた体制の整備

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する実施主体による自己評価

市、武蔵野プレイス、市民社協の実施している事業について、市民活動団体と大学等との協働は行われているが、地域企業との協働の実績が少ない。今後、地域企業と市民活動団体との協働の活性化のための、コーディネーターの育成や情報の提供が必要である。

★目標の達成状況及び事業の実施状況に対する市民活動推進委員会による評価及び意見